



目次

代表からの挨拶

代表からのご挨拶	・ ・ ・ ・ ・ P1
顧問からのメッセージ	・ ・ ・ ・ ・ P2
コーディネーター挨拶	・ ・ ・ ・ ・ P2
サポートのお願い	・ ・ ・ ・ ・ P3
2013年度ドナーリスト	・ P3
新人ボランティアから一言	・ P4
2013-14の活動	・ ・ ・ P5
ボランティアトレーニング	・ P5
ボランティアインタビュー	・ ・ P6
2013年会計報告	・ ・ ・ ・ P7
インテイク統計	・ ・ ・ ・ ・ P7

留学生ホットライン

Ryugakusei Hotline

(213) 473 - 1630

231 E. Third Street Suite G-106

Los Angeles CA 90013

<http://ryugakusei.ltsc.org/>

今日の日本では未だに東北大震災の復興が遅々として進まないまま、福島第一原発の汚染水問題の解決を含めた原発問題、首都圏直下や南海、東南海地震などの震災対策等々、問題が山積みになっているようですが、2012年安部政権が発足された今、国民が納得出来るような、安心して生活出来るような解決策を打ち出してほしいものです。アメリカでは2013年に二期目のオバマ政権がスタートし、今年2014年は甲午、午年の中でも甲午は暴れ馬の年だそうです。それも反映してか特に気候の変化は激しく、アメリカ東部では今までにない豪雪に見舞われ、沢山の人が厳しい日々を余儀なくされたと言う事です。幸いにして、ここカリフォルニアでは暖かい日が続く、本当に感謝の念で過ごさせて頂いています。

冬期オリンピックも開催されましたが、各国の選手達はこの日のために切磋琢磨の練習を重ね、結果はどうであれ全力投球をして競技に挑んだことでしょう。懸念されたテロの問題も無く、滞り無く終わる事が出来安堵いたしました。

さて、当ボランティアではアメリカに夢を持って留学をして来たであろう人達が、何らかの理由でトラブルになったり、精神的にも落ち込んでしまったりで、せっかくのアメリカ生活に自信を無くしたりしないよう、私達も日々勉強し経験を積んで、今年も誠心誠意を持って留学生の皆さんのご相談に対処させていただきます。当団体の広報活動が奏を成してか、今年はお電話頂く回数が増えて来ているようです。

どなたかの本の中に「青春」という期間は年齢で決まるものではなく心の様相で決まるのである。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。ということが書いてあったように思います。ですのでこれにならない今年も心の有様を整え理想を失う事無く、留学生ホットラインのボランティア活動に、邁進して行きたいと思えます。皆様の心温まるご支援ご協力引き続きよろしくお願い致します。

代表 和田容生子

新顧問からのメッセージ

初めまして、南加日系商工会議所会頭(JCCSC)並びリトルトーキョーサービスセンター(LTSC)にてビジネスコンサルタントに就いている青木義男と申します。この度 留学生ホットライン代表の和田様からの要請で顧問に就任致しました。どうぞ宜しくお願い致します。

このお話を頂戴するにあたり、色々と自問自答致しました。顧問職と言うのは難しく、何をどうすればどうなるかと言う事ではなく、唯、話の内容の分別なく、聞くだけで良いのか。若しくは、ボランティアの皆様と一緒に汗涙を流し日々の業務に参加するのか。はてさて、何をすれば良いのか?と色々脳内格闘がありました。答えは簡単で、皆が自由に議論が出来、楽しく何においても共有共存出来る環境を提供する……に協力をする事。また、在ロサンジェルス の邦人同胞並びに邦人留学生の為に出来る限りの支援努力をする事、と考えました。私自身、1968年に当地の全寮生の男子校に最初の東洋人として留学しました。その当時はあまり日本からの留学生も無く、色々な意味で人生経験をしました。昨今、日本からの留学生は減少し、グローバル化と騒いでいる日本で、本当に外国に行かず・留学もせず、外国を知らずに、グローバル化出来るかを危惧しています。そうは言っても、現に多少なりとも当地に留学生はいます。我が日本の未来を受け継ぐ若人が（中にはお年を召している人もいます）留学しています。今後も、当地に留学生が渡米する限り、皆で協力を惜しまず、一丸となり楽しくやっていければと切実に考えます。

末筆になりますが、和田代表並びにボランティアの皆様、改めて皆様の日々の努力に敬意と謝意を表します。今後とも日系社会並びに邦人留学生の支援に邁進しましょう。私も出来る限りのご協力を誓います。

青木義男
南加日系商工会議所 会頭
LTBA 副会長
LTSC ビジネスコンサルタント

ボランティアコーディネーターか

2013年秋、新しく8名のボランティア仲間を迎え、大変心強く思っています。私自身、活動を始めて一年半。留学生の質問や悩みに 迷いがちな回答になりまだまだ勉強が必要だと痛感しています。

RHLの全員が一堂に会する機会多くはありませんが、縁あってのすばらしい仲間です。お互いに信頼関係を築き、共に経験を積み、無理せずそれぞれの力が発揮できるようお手伝いできればと思っています。

ボランティア・コーディネーター 代表 まちこ

留学生ホットラインサポートのお願い

昨年もたくさんの御寄付を個人、団体から頂きました。ボランティア一同、感謝に絶えません。皆様からの貴重な御寄付は、留学生達のために大切に使用させていただきます。

留学生ホットラインの必要性を感じて下さった方々がいらっしゃるという事実は、私たちボランティアを何よりも勇気付けてくれます。

近年、留学生の数は減少し、インターネット等を利用した相談方法も増えてきました。そのため、電話の件数は減っていますが、簡単には解決できない複雑な問題や心の悩みなど、電話で直接話を聞いて欲しいというニーズがある限り、留学生ホットラインの活動を続けて行きたいと思っております。

私共のその様な思いにご賛同いただき当団体を通してご寄付やボランティアで留学生を支援していただけないでしょうか。

ご寄付については、同封の返信用封筒でチェックを郵送下さい。チェックの宛先は”Little Tokyo Service Center”として、左下に”RHL”と明記して下さるようお願い申し上げます。

銀行振り込みの場合、下記の口座にお願い申し上げます。

Bank of West Business Interest Checking Account
Little Tokyo Service Center (Ryugakusei Hotline)
Routing No. 122242843 Account No. 770014884

皆様のご支援、何卒よろしくお願い致します。

ボランティア一同

2013年度 ドナーリスト (敬称略)

Shinji Abe
Mitsuko Cude
Yoko Hongou
Kenji Irie
Michael and Katsuko Kass
Terumi Kinoshita
Yuichi Kitada
Nobuko Kuromizu
Hiromu Matsuo
Akiko Mimura
Chizu Okawa
Tomoko Sato
Yukiya Sato
Yoshikuni Tamura
Shinichi Tanaka
Tomomi Tanigami

Vivid Navigation Inc.
Alpha-net Consulting Group Inc.



Special Thanks

以下の個人・企業の方々にも
貴重なご協力をいただきました。

共同貿易 株式会社
瀧法律事務所の皆様
Inter Sec. ロン長谷川 様
びびなび 佐賀 愛 様
森 時代 様

新ボランティアからひと

びびなび、ライトハウス、マーケットの掲示板にボランティア募集広告があったのが一日のうちに立て続けに目に入ったのがきっかけで応募しました。多くの情報がインターネットで手に入る時代だからこそ、必要な奉仕だと思います (Hiroko)

昨年ボランティア募集の記事を目にし、少しでもお手伝い出来ればと軽い気持ちで参加しましたが 講習、ロールプレイ、トレーニングと進むうち、自分の考えていたよりも奥の深い、責任の重いものであることを思い知らされました。これからも先輩方を見習いつつ、新しい出会いを楽しみながらお役に立てていければと思います。(Tomoko)

私がボランティア活動をやるうと思ったきっかけを思い返してみると、もともと興味はあったのですが、新しい出会いや自分自身への新たな発見、そして経験につながるだろうというわくわくするような感覚からでした。そしてまた自分が少しでも誰かの助けになればいいなという思いがあったので少しずつですが頑張っていきたいと思います。(Yoko)

私自身が、渡米後多くの方にいろいろな情報をいただき助けられました。あわせ日々生活していく中で感じたことは、学び続けることの大切さです。目標にむかって取り組んでいる留学生のお役に立てることができたらと、今までのご恩返しの気持ちの中で、電話してよかったと、思っていただけなのがわたしの目標になりました。(おキ)

留学生ホットライン 2013～14年 活

去年の8月に息子の学校の新学期が始まった頃から新しい何かを探していました。ふと目に止まった留学生ホットラインの求人募集の詳細を読むとすぐにレズメ(大した内容ではありませんが)を送りました。遠い昔、アメリカで日本人留学生として色々な苦労や経験をしたので、ぜひ、今の日本人留学生の役に立てたらという思いです。どうぞよろしくお願いいたします。(佐藤)

ボランティアを始めて半年程度、電話が鳴るとまだ不安な気持ちになりますが、経験を重ね、いつか先輩方のように自信を持って電話に出られるようになりたいです。また、向上心を忘れず、長くRHLでのボランティアを続けたいです。(中川)

アメリカ生活も早20年。16才の息子も高校2年生となり、東海岸の大学を目指し、日々頑張っている今日この頃。ふとしたきっかけで、こちらでボランティアを始めることになりました。私の生活は100%英語での毎日、でも至って芯のある、日本人であることを自負し、不慣れではありますが、先輩方に助けをもらいお役に立てるよう頑張ります。(育子)



2013 年

- 1月1日 お正月 in リトル東京 おしるこブース出店
- 4月 ニュースレター21号発行
- 9月21日～11月10日 ボランティアトレーニング



2014 年

- 1月1日 お正月 in リトル東京 おしるこブース出店
- 4月上旬 ニュースレター22号発行
- 5月24日 ガレージセール

ボランティアトレーニング

2013年9月から行ったボランティアトレーニングにより8名のボランティアを仲間に加えることができました。皆、それぞれ日々成長しながら頑張っております。末永く、留学生ホットラインを支えて欲しいものです。トレーニングの日程は上の活動報告に詳しく載っていますが、講師としてご協力下さった在 LA 総領事館の北田領事、瀧法律事務所の瀧先生、Inter Sec.の長谷川氏、Asian Pacific Counseling and Treatment Center の谷口 LCSW、中村 MFT、協和調停サービスの森 CM、そしてリトル東京サービスセンターの坂本 LCSW、山田 LCSW、いつも本当にありがとうございます。そしてトレーニングの告知にご協力下さった各日系メディア様にもこの場を借りて日頃の御協力も併せて御礼申し上げます。特にびびなび様には大変お世話になりました。皆様、今後共ご指導、ご協力よろしくお願い致します。

トレーニング係一同



ボランティアインタビュー

アクティブなボランティア仲間との絆を深めるためのコーナー。第2回目は、第1回のKさん同様、留学生ホットラインに関わって下さった人で知らない人はいない、と言われるTさんの登場です。昨年ボランティアに加わったばかりの新人、Aiがインタビューしました。

ボランティアトレーニング講習内容

オリエンテーション・リスナーの基本姿勢・領事館からの注意・精神衛生・情報照会・留学生の基礎知識(学校関係・ビザ)・ボランティアの責任・異文化の理解・ビザについて・犯罪、交通関係・ドメスティックバイオレンス・ロールプレイその他

—Tさんはどれくらい留学生ホットラインのボランティアをなさっているのでしょうか。

90年代後半からなので、17年くらいになりますね。

—ロサンゼルスにはどのくらい住んでいるのですか。

20年になります。自分が留学生の時にロス暴動や大地震も経験しました。ロス暴動は自分が住んでいた所にも来たので怖かったですね。地震は朝早く起きたので、かつて経験したことのない揺れで飛び起きた後、不覚にも二度寝してしまっただけ、起きたら町中が停電していました。翌日学校に行ったら校舎が壊れていたのを覚えています。

—このボランティアを始めたきっかけを教えてください。

日本で会社員をしたあと、留学生としてアメリカに来ました。こちらで仕事を探していた際に時間があり、無料のトレーニングがある、というので応募しました。

—今まで継続してボランティアを続けてきた理由や、やりがいは。

やはり、留学生の方の役に立ったり、喜んでもらったりすると嬉しいです。会のために役に立てた時もやりがいを感じます。辞めたいと思った事も何度かありましたが、続けたいと思う気持ちのほうが大きかった。仕事や生活の状況でなかなか来られない時も多かったけれど幸運にも何とか時間を融通出来てきたということも大きいと思います。

—ボランティアをしていて、自分自身の役に立った事は何かありますか。

ビザ、永住権の事も知らず知らずのうちに参考にしていますね。生活の事でも知識が役に立った事があると思います。

—逆に、困った事などはありますか。

上手く対応できなかったり、間違った事を言ってしまった。留学生のお役に立てなかった時はがっかりします。それから、留学生ホットラインの中で、仕事をたくさん引き受けてしまい、大変な思いをした事などもあります。

—ボランティアメンバーに対しての想いを聞かせて下さい。

奇特（親切）な人が多いと思う。世の中捨てたものではないですね。入ってみてボランティアには個性的な人が多いと思いました。アグレッシブな人、冷静な人、ポジティブな人、そうでもない人、様々な個性に出会うことが出来、良い人生勉強になります。

—長くボランティアを続けておられますが、モチベーションを保つ秘訣はありますか。

ことさらモチベーションを保とうとは思ってはいないけれど、辞めるにもモチベーションがいるし、何となく続けていると、時々、自然とモチベーションが上がって来ます。新しい人が入って来てくれて頑張っているのを見たりすると、上がってきますね。

—最近の留学生を見ていて感じる事。

長いあいだ日本社会が不景気だったためか、今の学生はシビアだと思う。リスクがあるので留学にも慎重だし、メジャーを決めるときも仕事に繋がるか細かく考えたり現実的。一方で、夢を持っていて頑張っている人も昔より多いのではないのでしょうか。昔は子供の頃に夢見たことがあってもみんなすぐにあきらめてしまったけど最近の若い人はあきらめずに実現する人も多い。様々な分野で世界で活躍する日本人が多くなった影響もあると思う。個人的にはアメリカで野茂選手が活躍したのはとても嬉しかった。彼の試合はよく応援に行きましたがいつもこちらが応援されているような気持ちになりました。彼が渡米するにあたっては批判する人が多くもちろん彼自身いくら自信があってもメジャーで通用するか不安だったと思いますが決してあきらめなかった。その勇気が私たちに感動を与えてくれたんだと思います。今も選手育成のために頑張っていて立派だと思います。今の日本人選手も是非がんばって欲しい。もちろん学生の方もです。

—Tさんの、今後のRHLの展望を聞かせてください。

ホットラインの存在を知らない留学生が多いのももっとたくさんの人に知ってもらいたい。学生さんは、すぐに帰国してしまう人が多いので、常に広報活動をしていかなければいけないのですが費用もかかるし、寄附を募ったり、効果的なファンディングを考えなければなりません。また、電話対応のクオリティを高めていくことも必要です。新しいボランティアの人にも大いに期待しています。

インタビュー後記■今回インタビューさせて頂いたのは、大先輩であるTさん。留学生ホットラインの活動に人一倍の情熱を注いでいらっしゃいます。そんなTさんへのインタビューは、新人の私にとって、正直とても緊張するものでした。■17年間、日本人留学生とボランティアを見続けてきたTさんのお話はとても面白く、特に今と昔の留学生の違いについては、なるほどと思いました。また、Tさんのボランティアに対する情熱の源、「留学生の役に立ちたい。喜んでほしい」というお気持ちを知り、その気持ちがTさんの留学生に対する真摯な対応に繋がっているんだなと実感しました。■このインタビューを終え、私も新人ボランティアの一人として、Tさんの期待に応えられるよう、よりいっそう努力していきたいと思いました。(Ai)

<収入>

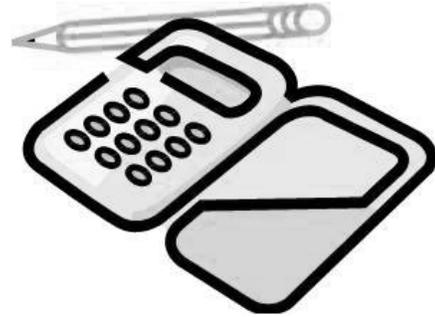
団体、個人ドネーション	3,967.00
-------------	----------

2013年度会計収

コピー個人使用料受取	1,387.50
銀行利子&アジャストメント	10.92
合計	2.49
	5,367.91

<支出>

(A)オフィスレント	3,600.00
(B)会計手数料	483.00
(C)オフィス費用小計	1,170.40
サブライ、切手等	660.84
コンピューター	412.57
プリンター	96.99
(D)イベント費用小計	986.70
お正月 in 小東京ブース	756.98
トレーニング 講師謝礼等	166.68
勤続 15 周年記念品	63.04
(E)広告費	205.00
(F)その他：ジェルへ電話代	25.00
合計	6,470.10



2013年インテイク統

2013年度収支	性別			- 1,102	曜日				
	男	女	不明		月	火	水	木	金
	53	178	10		51	43	39	48	54

ビザ関係	学校	交通	ハウジング	健康	犯罪	生活	その他
89	74	16	23	20	13	14	13

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
21	21	12	13	20	22	27	30	18	25	14	18

★総合電話件数は 214 件

RYUGAKUSEI HOTLINE
231 E. 3rd St., Suite G-106
Los Angeles, CA 90013